

2026年4月15日

福岡県東峰村
NTT西日本株式会社九州支店
株式会社地域創生 Co デザイン研究所

東峰村とNTT西日本九州支店、地域創生 Co デザイン研究所にて 地域データを可視化する「東峰村観光ダッシュボード」を構築

福岡県東峰村（村長：眞田 秀樹 以下、東峰村）とNTT西日本株式会社九州支店（支店長：右田 聖秀 以下、NTT西日本）、株式会社地域創生 Co デザイン研究所（代表取締役所長：木上 秀則/NTT西日本グループ 以下、地域創生 Co デザイン研究所）は、「稼ぐ地域づくり」およびEBPM（証拠に基づく政策立案）の推進を目的として、東峰村が保有する各種地域データを統合・可視化する「東峰村観光ダッシュボード（以下、本システム）」を構築しました。

本事業は、2023年1月に東峰村とNTT西日本が締結した「まちづくりや住民サービスに関するICT連携協定」^{※1}の枠組みを基盤として東峰村が抱える課題や未来ビジョンを「データから再発見する」取り組みです。今後もDX推進を通じ、地域の課題解決と活性化に向けた取り組みを継続してまいります。

※1 2023年1月31日報道発表 まちづくりや住民サービスに関するICT連携協定の締結について
<https://www.ntt-west.co.jp/newscms/kyushu2/12698/kyushu_n20230131a.pdf>

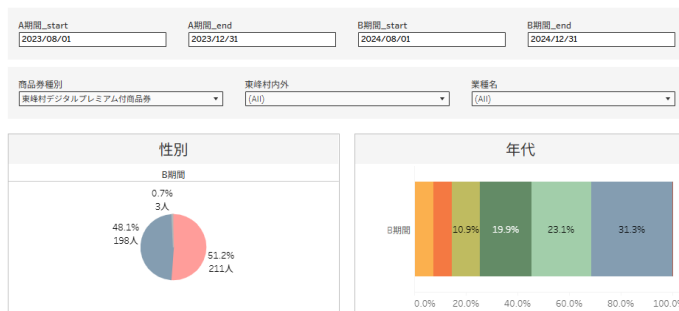
1. 本システムについて

本システムは、地域通貨の利用状況、人の動き、東峰村観光ホームページのアクセスログ等、これまで分散して管理されていた地域データを、横断的に活用・分析できる環境を整備するもので、地域の実態把握、データに基づく課題抽出および施策立案を可能とし、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。

(参考) 本システムの参照先 <<https://vill.toho-info.com/40000/41700/index.html>>

(参考) 本システムのイメージ図

4. 属性分析 2期間比較ダッシュボード



(参考1) 地域通貨データ分析



(参考2) 人流データ分析

2. 参加事業者と役割

- 東峰村
 - ・ 村内における各種地域データの提供
 - ・ 本システム構築に向けた要件整理
- NTT 西日本
 - ・ 地域課題の解決に向けた地域経済 DX の推進／施策の企画・検討
- 地域創生 Co デザイン研究所
 - ・ 本システム構築に向けた仕様検討、システム構築

3. 今後の取り組み

今後は、昨年 12 月に設立された「一般社団法人 東峰むらたび観光局」と連携し、構築したダッシュボードを活用した村内事業所向けの勉強会等を実施するとともに、ダッシュボードのデータに基づいた事業者支援に取り組んでまいります。あわせて、観光の現状把握や施策の検討・改善を通じ、EBPM の推進にも取り組んでまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。